

ねらい

5歳児: 1年生と一緒に秋の自然の中で遊ぶことを通して、1年生になる期待や憧れの気持ちをもつ。

1年生: 5歳児に親しみをもって一緒に「あきみつけ」の活動を楽しむ。

本時のポイント

事前に教職員同士で5歳児と1年生のグループを決め、5歳児や1年生にグループのメンバーを知らせておく。1年生は自分のグループの5歳児の名前を覚え、5歳児から呼んでほしい名前をテープに書いて当日、服に貼った。また、1年生は当日の活動内容をあらかじめ考えておき、グループの友達に提案できるようにした。

実践内容

まずは自己紹介



わたしの名前は〇〇〇〇だよ。
「ゆっぴい」って呼んでね。
何して遊ぶ?

遊びタイム



松ぼっくりや
きれいな葉っぱ、
枝、これでどんな
遊びができる
かな。

松ぼっくりや落ち葉、枝を集めて音を鳴らしたり、
飾りをつくったり…

解散・お別れ



バイバイ、〇〇ちゃん。
また一緒に遊ぼうね。



あっちのグループ
とどっちが高く
積めるか競争!

枯草を集めて積上げ、同じように遊ぶ他のグループ
と高さを比べる競争へ…

交流を振り返って

1年生は事前に活動を楽しみにできるように遊びたいことを考えておくことで、活動のめあてや見通しをもち、グループ内で遊びを進めたり、5歳児に関わったりして、リーダーシップをとっていた。

事前に一緒に活動するグループを決めて、同じグループの友達の名前がわかっていたことで、5歳児は安心感や1年生への親しみをもつことができた。また、1年生は事前に5歳児の名前を覚えたり、5歳児に思いを寄せながら一緒に遊んだり、互いに名前を呼び合うことから、相手がしっかりとわかり、思いを交わし合いながら活動することができた。